

# ストレスチェックの導入・体制構築時の留意点・実務対応

～事前の運用事例で明らかになった実施時のポイント・留意点、運用時の実務対応策～

■日 時■ 2015年10月19(月) 14:00～17:00

■会 場■ 東京・麹町『企業研究会セミナールーム』

■講 師■ (株)ファーストリテイリング統括産業医 浜口 伝博 氏  
(株)MD.ネット執行役員 EAP コンサルタント 高橋 裕之 氏

浜口伝博氏【講師紹介】産業医科大学医学部卒業、医師・医学博士。(株)東芝、日本IBM(株)での専属産業医を経て独立し、ファームアンドブレイン(有)を設立。企業の産業保健コンサルティングを行うとともに、産業医サービスを提供。産業医科大学産業衛生教授、慶應義塾大学医学部講師、順天堂大学医学部講師として学部生の産業医学指導にも取り組んでいる。産業医学推進賞受賞、日本産業衛生学会奨励賞受賞、中央労働基準局局長賞受賞。「産業医ストラテジー」(監修)等著作多数。日本産業衛生学会認定指導医、労働衛生コンサルタント、日本医師会認定産業医。

高橋裕之氏【講師紹介】慶應義塾大学理工学部大学院修士課程修了。鳥取大学非常勤講師。外資系食品会社、教育関連会社勤務後、2009年よりMD.ネットに入社。現在、メンタルヘルス体制構築や、休職・復職者対応に関するコンサルティング、講演活動を精力的に行っている。豊富な経験と的確なケース対応、指導で人事担当者はもちろん、弁護士、産業医からも高い信頼を得ている。

## ◆開催にあたって

企業におけるメンタルヘルスを巡るトラブルは、年々増加の傾向にあります。そうしたなか国は、対策の一つとして、ストレスチェックと、面接の実施を義務づける制度を創設しました。社員の定期的なストレス状況の検査、把握により、個人のメンタルヘルス不調リスクの低減と、検査集団ごとの集計・分析を行い、職場のストレス要因の評価、社内環境の改善を目的としています。

本セミナーでは、2015年12月施行に向けた、制度の概要・運用方法の早期理解と、そこから考える活用方法、留意点について、事前に運用している企業の事例や、使用されている受検画面、管理者画面イメージを参考に、具体的に詳解致します。

≪プログラム詳細は裏面をご覧ください≫

### ■受講料：1名(税込・資料代含む)

正会員	32,400円	本体価格 30,000円
一般	35,640円	本体価格 33,000円

### ■参加要領

申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。以下の当会ホームページからお申し込み頂けます。(http://www.bri.or.jp)

後日(開催7～10日前までに)、受講票・請求書をお送り致します。

\*FAXご送付の際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

\*会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕をご参照下さい。

\*お申込後のキャンセルはお受けしかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理の方のご出席をお願い致します。

\*最小催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。

### ■お申込・お問い合わせ先

一般社団法人企業研究会 担当：喜友名

E-mail: kiyuna@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3550 FAX: 03-5215-0951

〒102-0083

東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

\*当会ホームページ (http://www.bri.or.jp) からもお申込みいただけます。

151627-0206(※)		※		2015.10.19	
[申込書] ストレスチェックの導入・体制構築時の留意点・実務対応					
会社名	フリガナ				
住所	〒				
TEL			FAX		
ご氏名	フリガナ	所属			
		役職			
E-mail					
本セミナーでお聞きしたい事・現在抱えている課題					

\*お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

# ストレスチェックの導入・体制構築時の留意点・実務対応

～事前の運用事例で明らかになった実施時のポイント・留意点、運用時の実務対応策～

10月19日(月)

● プログラム ●

14:00

## I ストレスチェック制度導入の背景と対応

- (1) 企業におけるメンタルヘルス問題の動向
- (2) ストレスチェックを活用した戦略的メンタルヘルス・マネジメント

## II 制度施行に向けた体制構築の実務対応・留意点

### (1) 制度理解のポイント

- ・ストレスチェック制度導入の背景と制度を理解する
- ・ストレスチェック制度の目的の把握
- ・施行日に向け何をすべきか・留意点

### (2) 導入に向けた実務対応

- ・ストレスチェック実施の際のポイント
- ・ストレスチェックの実施
- ・ストレスチェックの結果による職場の分析・環境改善の実務対応

### (3) 制度運用時における留意点・実務対応

- ・プライバシーの保護と、従業員の診断データ取り扱いにおける留意点
- ・不利益取扱い（人事における診断データの取り扱い等）の防止、留意点
- ・職場不満があり、意図的に制度を利用しようとする社員への留意点
- ・キャリア上、高ストレス状態にならないように点数調整をする社員の場合

## III 事前に運用している企業事例の紹介

- (1) 受検者への案内・受検・結果までのプロセス・使用画面イメージ
- (2) 管理者ページの活用イメージ
- (3) ストレスチェック受検者内の医師面談希望者の実際の割合
- (4) 医師面談を行ってみて
- (5) 制度を活用した組織分析・活用時の留意点

## IV 質疑応答

17:00

※本パンフレットに記載されている内容から、一部講演内容を変更する可能性があります。予めご了承ください。